

IMF サーベイ

IMF 世界銀行春季会合

IMF の政策諮問委員会、雇用を多く創出し 均衡ある世界経済を目指す

2014年4月12日



IMFC のシャンムガトナム議長
(左) とラガルド専務理事：IMFC
は、加盟国に対し、構造改革を重視し
ながら中期に焦点を移すよう要請した
(写真：IMF)

- 世界経済は力強さを増しているが、成長は標準を下回りばらつきがある
- 世界の財務大臣、回復を促すために協働を確認
- 雇用創出と持続可能な成長に至るためには、構造改革がカギ

国際通貨金融委員会（IMFC）は、世界経済が力強さを増すなか、加盟各国に対し、雇用を多く創出し均衡ある持続可能な成長を支える構造改革の実施を重視しながら、焦点を短期から中期に移すよう強く訴えた。

第29回のIMFC会合の議長を務めたシンガポール財務相のターマン・シャンムガトナム氏は「経済回復の新たな段階のニーズに見合う、政策の新たなバランスが世界的に必要なになっている」と述べた。

「これは、経済回復を支えるマクロ経済政策、特に金融政策の解除を意味するのではなく、構造改革に今まで以上に重点をおくことを意味している」

新旧リスク

ターマン議長は、IMFCが考えるより注視すべき主な分野を複数提示した。

バランスシートの修復、銀行システムの強化、労働市場の機能向上といった構造改革の必要性に加え、世界経済にかかる主なリスクを数点示した。金融の安定性にかかるリスクーこれは危機の遺産的リスクのみならず新たなリスクも含むーは特に懸念すべきものであり、一部の国では企業債務の伸びが投資の成長とバランスが取れていない。

また、新興市場国・地域に流れる資本フローのボラティリティリスクも続いており、これも懸念材料だとした。このリスクの上昇は、国際金融の構造の変化を反映したものである。資本フローの規模の拡大のみならずこうしたフローの構造が変化している。

また、地政学的リスクにも警戒すべきである。ターマン議長は、地政学的危機を安定化させ関連する経済リスクを沈静化するうえで、IMFは重要な役割を担うと述べた。

高いだけでなく、質の高い成長を

IMFのクリスティーヌ・ラガルド専務理事は、より良い一段と包摂的な均衡ある成長を追求することで、世界経済の回復を維持する必要があると強調した。

同氏は、IMFCがIMFの[グローバル政策アジェンダ](#)を承認したことを明らかにするとともに、これは、世界経済の成長を促すために国際社会にIMFが提供することができる支援を推し進めるうえで、大きな支えとなると述べた。

ラガルド氏は、IMFの格差に関する研究は包摂的成長の追求を支えたと述べた。さらに、気候変動や環境悪化を考慮したより質の高い成長が極めて重要だと述べた。これは、IMFが自らの活動で重視している分野でもある。

同氏は「我々はエネルギー補助金の撤廃に取り組んできた。まもなくエネルギーの適正価格設定に関する我々の研究を公表する予定だ」と述べた。さらに、マクロ経済が関係しているあらゆる事案について、自ら選択した成長軌道を追求する加盟国を支援すべく、IMFは分析を提供し加盟国と連携していくと述べた。

IMFのガバナンス改革

ターマン議長とラガルド専務理事はともに、2010年のIMFクォータ・ガバナンス改革の進捗が遅れていることに失望していると述べた。ターマン議長は「2010年の改革の意義は、IMFの制度的改革にとどまらず、極めて重要な公共財を提供するというIMFの役割を踏まえれば、より安全でより良い世界を築くための改革である」と述べた。

4月11日のG20の記者会見でターマン議長は、クォータ問題を前進させるための道筋を探るという「多大なる意欲」が各国財務大臣のなかにあり、また強固かつ適切な資金基盤を備えたIMFを維持することが極めて重要であるという点で合意があったと述べた。

ラガルド氏は「我々は前進することができる」と述べ、IMFCが2010年改革の批准期限を2014年末に設定したと述べた。この期限に間に合わなかった場合は、IMFが次のステップための手段を考案することになる。

今後開催予定の会合

ラガルド氏は、低所得国での活動は引き続き IMF の優先課題だと述べた。モザンビーク政府と共催で、5月29日・30日の予定で[マプトで会議](#)を開催する。ここでは、アフリカの力強い経済パフォーマンス、ショックに対する頑健性の向上、そして現在の経済政策面での課題を検討・評価する。このイベントでは、2008年の金融危機後の対アフリカ国際支援を促すための、2009年のタンザニア会議のフォローアップを図る。

また、IMFは移行期にあるアラブ諸国とも積極的に活動している。ラガルド氏は、現在、モロッコ、チュニジア、ヨルダンの3カ国でIMF支援プログラムが実施されていると述べた。また、IMFは、移行期にあるアラブ諸国の経済の展望に関する地域レベルの対話を促進するために、ヨルダン・アンマンで5月11日・12日に[会議](#)を行う。この会議は、ヨルダン政府とアラブ経済社会開発基金の共催で開かれる。

関連リンク：

[コミュニケ（声明）を読む](#)

[ビデオを見る](#)

[春季会合ウェブサイト](#)

[最新の世界の見通し](#)

[ラガルド：乗り越えるべき3つのハードル](#)